

倉敷は、「カラフルなマスキングテープ発祥の地」です！

カラフルな色合いやデザイン性で、今や爆発的な人気となった、装飾・ラッピング用の和紙製マスキングテープ「mt」。実は、倉敷の老舗企業「カモ井加工紙株」が製造する、倉敷発の逸品なんです。



※イメージ

● mt × 大原美術館

そんな倉敷が誇る「mt」と「大原美術館」のコラボレーションが実現！
3月29日(火)～7月3日(日)、大原美術館本館内でmtアートが楽しめるほか、外観もmtで装飾します。体験コーナーや、オリジナルmtが購入できるショップも設置され、mtファンならずとも大注目のイベントです！



※イメージ

倉敷って、こんなところ。

クラシキ文華新聞 Vol.4
平成 28 年 3 月吉日発行
【編集・発行】
クラシキ文華新聞編集部
(倉敷市くらしき情報発信課内)
〒710-8565
岡山県倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3061
FAX086-426-4095
pubinfo@city.kurashiki.
okayama.jp

WEBもチェック！
クラシキ文華
http://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/
クラシキ文華 検索
倉敷市公式 Facebook
https://www.facebook.com/KurashikiCity

編集後記
「地元の人が行く店を」という声からクラシキの隠れ家的スポットの特集は生まれました。どの店も魅力的な空間で、今度は仕事抜きで行ってみようと思んでいます。「こんな特集が読みたい」という希望がありましたら、お気軽に編集部まで。(安藤・村上)

クラシキ文華新聞

ブン カ

Vol. 4

第4号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市——。このまちでは、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出されています。例えば、町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている、倉敷美観地区。例えば、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」。例えば、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」。このまちにあるのは、歴史や伝統だけではありません！そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をたっぷりとお伝えする『クラシキ文華新聞』第4号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。



倉敷をもっと深く味わいたいあなたに！ クラシキの隠れ家的スポット

アートで満たされた山小屋カフェ「HÜTTE」



瀬戸大橋を擁し、国産ジーンズ発祥の地でもある倉敷市児島地区。見所の多いこの町を訪れた際は、町中から少し離れた小高い山の中腹で、小鳥の声や葉擦れの音を耳にしながらかランチやお茶、アートを味わうひと時はいかがでしょうか。

町を見下ろす高台、『備前焼窯元 鷺羽窯』の敷地内に佇む山小屋風の建物が、ランチとカフェのお店「ヒュッテ」です。大きな窓越しに児島の町を一望できる店内で味わえるのは、ヘルシーな「野菜いっ



ぱいランチ」。「春菊とナッツのかき揚げ」や「大根のピクルス」「蓮根の照り焼き」など、近所の畑で育った無農薬野菜など 20 ～ 30 種の旬の野菜を用いた和洋折衷の家庭料理のあれこれに、ふっくらと炊きあがったご飯と汁物が添え

られています。腕を振るうのは、店主の野田淑子さん。ランチは、「仕入れた野菜で何を作るか決めるので、週に3回、料理内容が替わる」のだとか。

『ヒュッテ』とは、山小屋を意味するドイツ語。実はこの児島には、かつて同じ名の人気店がありました。それは、野田さんの亡き父が開き、惜しまれつつ閉店したパブ&食事処です。野田さんは、60 歳を過ぎて「父の思いを継ごう」と一念発起。画家として活動する娘の裕子さんと、その夫で陶芸家のドン・パーカーさん、友人である『鷺羽窯』の尾鷲さん父子の協力のもと、店づくりに取りかかりました。

壁の石積みから屋根張り、テーブル、食器まで、店のすべてが手作り。用いたのは、裏山の石、古船や古家の廃材、神社から出てきた柱、書店の本棚……。ひとつひとつが物語を秘めた材料で作られた店内は、まるで長く使われてきた山小屋のように温かく、心落ち着く雰囲気になっています。また、裕子さんの絵画やドンさんの陶器、そこそこを彩る装飾品など、アーティスト 4 人が手がけた作品との出会いも楽しめるアート空間でもあります。



所在地	倉敷市児島赤崎 1754-2
お問合せ	☎ 086-473-3336
営業時間	11:30 ~ 15:00
定休日	水・木曜、第1・3・5日曜

昭和レトロな愛され食堂「おたやん食堂」



江戸時代の元禄年間頃から、北前船と高梁川の高瀬舟の発着点として栄えた倉敷市玉島地区。趣向を凝らした虫籠窓、かつての繁栄がしのばれる商家や重厚な土蔵、ハイカラな洋館に出合え、

映画「ALWAYS 三丁目の夕日」のロケ地にもなりました。

そこで暮らす人々とともに歴史を重ねてきたのが、昭和レトロな趣の玉島通町1丁目商店街です。そのアーケードの中ほどに佇む「おたやん食堂」は、1960年創業。暖簾を潜り、カラカラと音をたてて木枠の格子戸を開けると、土間の店内に直し直し使っているという丸イスや使い込んだテーブルが並び、店内は、表の通りと同じように昭和時代へとタイムスリップしたかのような懐かしい趣の空間です。



父の店を引き継ぐため27年前に帰郷した別所さんは、以来、お好み焼や丼もの、オムライスなど、さまざまなジャンルの約50種を、日々作り続けています。羽釜で炊くご飯や丁寧にだしを引い

た味噌汁、父が修業で身に付けたお好み焼の味を大切に守りながら、「新たな玉島名物が町の活性化の一助となれば」と新メニューにも取り組んでいます。

そのひとつが、港の鎮守・羽黒神社にちなむ「からす天狗焼きそば」。イカスミを練り込んだモチモチとした食感の真っ黒な麺に、10種の具を加えたひと品です。テレビなどでたびたび紹介され、週末はこれを目当てに訪れる県外からのお客も少なくありません。また、別所さんも一員である「玉島みなと若旦那会」や地元有志が発信しているご当地グルメ「玉島おでん」も名物。最大の特徴は、ほんのり甘い「カステラ」という、卵と砂糖を加えたかまぼこが入っていることで、玉島ならではの味が楽しめます。

玉島の人々とながりの中で歴史を刻んできた当店。取材中も、「タッパーにおでん入れて」と、馴染みのおばあちゃんが顔をのぞかせました。「あんたんとこがなくなると、困るわ」。おたやん食堂は、この地に欠かせない愛され食堂です。



所在地 倉敷市玉島2-6-14
お問合せ ☎ 086-525-4083
営業時間 11:00～19:30
定休日 月曜

倉敷美観地区の隠れ家「常衛門食堂」

白壁の商家や町家が建ち並び、天領として栄えていた頃の風情を今に伝える倉敷美観地区。細い路地に佇む名店との思わぬ出会いも、大きな魅力のひとつです。にぎやかな表通りから一歩足を踏み入れた細い路地の奥にある『常衛門食堂』は、まさに隠れ家のような一軒。昼はランチ、午後はスイーツやドリンク、夜はディナーや日本ワイン、厳選した日本酒などを、日本庭園を眺めながら楽しめます。

このお店は、倉敷市内にあるフランス料理店のオーナーシェフ・八束雄さんが、2号店として昨年オープンさせました。共に店を切り盛り



りするのは、奥様のしずかさん。「毎日食べても食べられない、お母さんの味を心がけています」と、下ごしらえから盛りつけまで、手間を惜しまず丹精込めた料理はもちろん、ソースやド

レッシングまで、すべて一から手作りにしています。昼は、主菜と副菜2種に味噌汁、ご飯が付く「おまかせ定食」や、5種類のスパイスを独自にブレンドし、和風だしで奥行きのある味に仕上げた豆腐入りの「食堂カレー」が好評。ほかに、無農薬や減農薬の季節野菜の持ち味を薄味で引き出した「白菜と厚揚げ煮」など、時々一品料理もメニューに並びます。

「この界限は、観光客向けの飲食店が多いんです。だから近所の人や倉敷で働く人たちが、気軽にふらりと立ち寄れる、町の台所のような食堂を開きたかった」そう話す八束さん。店名は、この地に馴染みやすいよう、地名がここに住んでいた人の名前を入れたいと考え、以前この建物に住んでいた原田常衛門さんの名前を使わせてもらったそうです。また、いつでも気軽に立



ち寄ってほしいと、あえて「食堂」と名付けたこだわりは、料理や飲み物のリーズナブルな値段にも現れています。

家庭料理をベースにした体想いのやさしい料理をゆっくりと楽しめる、隠れ家的一軒です。

所在地 倉敷市阿知2-22-2
お問合せ ☎ 086-441-0375
営業時間 11:00頃～21:00頃
定休日 不定休



クラシキのニュース

G7 倉敷教育大臣会合公式サイドイベント「G7 倉敷こどもサミット」を開催！

伊勢志摩サミットに合わせ5月14日(土)・15日(日)に倉敷で開催される、教育大臣会合の準備が着々と進められる中、倉敷市は3月6日、その公式サイドイベント「G7 倉敷こどもサミット」を開催しました。テーマは「Think globally, act locally」。市内20中学校の生徒約240人を前に、主要7カ国出身の10～15歳の12人がパネリストとして英語で意見を交わし、英語と日本語からなる4項目の「G7 倉敷こどもサミット宣言」をまとめました。

【G7 倉敷こどもサミット宣言】(抜粋)

- ①他人を理解し、家族を助け、周りの人を大切にします
- ②勉強を頑張り、遊び、学んだことを生かしていきます
- ③地域の歴史、文化をもっと知り、地域のリーダーとなるよう努力していきます
- ④他国の人と交流を深め、グローバルな視野で物事を考えていきます



▲馳浩文部科学大臣は「宣言をしっかりと受け止め、5月の各国教育大臣とのミーティングで使わせてもらいたい」と開会あいさつ

クラシキのイベント

集え！2時間耐久伝説の聖地、水島へ！ いす1グランプリ岡山大会2016

昨年、中国地方では初開催となった、キャスター付きの事務椅子でコースを駆け抜ける耐久レース「いす1GP」が、今年も倉敷市水島の老舗商店街の地を熱くします！事務椅子に座ったまま地面を蹴って進むレースで、1チーム3人が交代しながら、1周約180mのコースを2時間で何周走れるかを競います。

昨年は、岡山県内外の71チームが参戦し、約4千人が声援を送る中、「マシン」の故障・接触・転倒が多発する大熱戦が繰り広げられました。過酷なレースを制したのは、107周を走った「清滝友の会～特攻野郎Aチーム」(大阪)。今年は、どんな激走が見られるのでしょうか！

□日にち…5月21日(土)

□場所…水島商店街(倉敷市水島西栄町)



日本橋三越本店から倉敷の個性と魅力を発信！ 倉敷アーツ&ファブリカ展

～新化する倉敷イズム～

歴史と文化、芸術の薫りに満ちあふれる倉敷のさまざまなアートやファブリカ(工場)、民藝からモダンファッションなど、人々の暮らしに寄り添い、時代に合わせて新化し続ける倉敷イズムを発信します！

民藝・伝統工芸の品々、繊維製品他を展示販売。伊東香織倉敷市長による特産品スイートピーのプレゼントも！

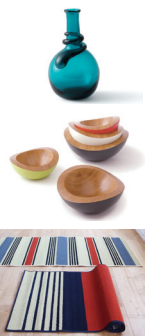
□期間…3月30日(水)～4月5日(火)

□場所…日本橋三越本店

●特別商品「帆布バッグ」と「い草ガラス」を数量限定先行販売！



帆布バッグは帆布の老舗織物会社タケヤリと、アーティスト・能勢聖紅氏のコラボ商品。倉敷の特産品スイートピーが描かれ、一点一点に手入れを施しました。また、い草ガラスは倉敷の伝統と技術を継ぐ若いアルチザン3人が協演した品。栽培した上質のい草の灰をガラスに調合し、い草色に色付けることに成功。い草縄もあしらいました。



イベント	日程	場所	内容
せんいのまち児島フェスティバル	4月23日(土)・24日(日) 9時～17時	JR児島駅周辺、児島ジーンズストリート周辺など	「繊維のまち・児島」ならではの質の高い繊維製品を格安で買える即売テントや稲妻デニムフェスなどのイベントが盛りだくさん！倉敷市最大級の動員数を誇るビッグイベント
ハートランド倉敷	5月2日(月)～8日(日)	倉敷美観地区など	倉敷のG.W.といえばこれ！白壁のまちを舞台に、瀬戸の花嫁川舟流し、パレードなど、倉敷の歴史と文化の魅力を活かしたおもてなし。倉敷市最大級の動員数を誇るビッグイベント

イベント情報は、[Facebook](https://www.facebook.com/KurashikiCity) (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています！